



2024-2025年度
1月号
NO. 422

強調月間

E F
J E F

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

国際会長：シャヴァンスカーン(インド) 主題「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長：ジョウン・ウオン(香港) 主題「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事：山田公平(宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長：山本剛史郎(川越) 主題「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題「マンネリを楽しんで一歩前へ！」

1月例会(新年会)



と き 2025年1月9日(木)
18:30~20:30

と ころ 両国「香港楼」
墨田区両国 2-14-5
TEL03-3635-9168

★プログラム

開会挨拶 会長 鮎澤正和
食前の感謝
乾 杯
食事・懇談
メンバー “一言スピーチ”
「私の2025年」
今月の誕生日
次期クラブ役員選出
スマイル/各種報告
閉会の言葉

新年あけましておめでとうございます

会長 鮎澤正和



元旦の東京は穏やかに明けました。今年一年恙無く過ごせるように願っています。昨年の元旦も穏やかに明けましたが、夕刻には能登半島をM7.6の地震が襲いました。

多くの方の力で復旧に向けて動き出しましたが、9月には豪雨に見舞われ更に被害が拡大したことはご存知の通りです。私どもは中々現地に赴くことは出来ませんが、街頭募金や例会時のスマイル等で募金に協力して少しでもお役に立ちたいと思っています。今年度の山本関東東部部長の主題「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」が心に響いたのは私だけではないと思います。重い話になってしまいましたが、クラブでは嬉しい話題がありました。7月と11月に新メンバーの入会です。働き盛りの二人なので時間が取れないということもあると思いますが、みんながそれぞれ動きやすい環境を考えて「パワフルなクラブ(?)」を目指し「出来ることを、出来る時に、出来る人が」で動いて行きたいと思いません。2024-2025年度も半分を過ぎました。残り半分もよろしく願いいたします。

🕊 今月の聖句 🕊

『シモンの仲間、ゼバダイの子もヨハネも同様だった。すると、イエスは言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。』』

—ルカによる福音書 5章 10節—

12月例会(クリスマス)

出席者 24名 ビジター 名
ひがし出席数 9名 ゲスト 15名
在籍数 14名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 75%

スマイル

12月 19,000円

※能登半島被災地支援として献金

2024-2025年度役員

会 長 鮎澤正和
副会長 金丸満雄
書 記 金丸満雄
会 計 野本多美子
担当主事 沖 利柯

クリスマス例会報告

沖 利柯

12月12日(木)東京YMCA 東陽町センターにて、東京ひがしワイズメンズクラブ12月クリスマス例会が、ゲスト・クラブOB合わせ24名の参加で、賑やかに開催されました。第一部は金丸さんの進行によるクリスマス礼拝で、聖書朗読、讃美歌斉唱、祈禱、などが行われました。集められた献金19,000円は、能登半島被災地支援として東京YMCAに捧げられました。

第二部は、沖司会で鮎澤会長の開会挨拶で始まり、高野さんの乾杯の音頭で、ケータリングと金丸さん特製の鶏の丸焼きグリルが華を添えて、おいしい食事とお酒をなごやかに楽しみました。そして、続くお楽しみタイムは、グループごとの対抗クイズ合戦です。間違い探しやジェスチャークイズ、クリスマスビンゴなどなど、様々なゲームにグループで協力して取り組みました。第1位から第4位まで、それぞれに素敵な景品を受け取った後は、皆さんで持ち寄ったクリスマスプレゼントの交換会。ワイワイガヤガヤ、ひがしクラブらしいクリスマス会でした。最後は、森村さんのギター演奏でクリスマスソング「恋人はサンタクロース」をみんなで熱唱。金丸直前会長の閉会挨拶で幕を閉じました。と思った後、コミュニティーセンター事務所で二次会がスタート。やっぱり！遅くまでみんなで楽しくお酒を酌み交わしながら、クリスマスをお祝いしました。この一年本当にありがとうございました。また来年も、よろしく願いいたします。



東陽町センタークリスマスオープンハウス

12月8日(日)、好天気に迎えられオープンハウスが開催された。前日からの準備に続き早朝からの準備も整い、大沼実行委員長の開会挨拶他開会セレモニーが終了。そして恒例のつきたて餅のお雑煮が振る舞われ10時スタート。ひがしクラブはおじさん勢ぞろいでクレープ出店。社体の学生さんたちに助けられ、10キロの生地を焼き上げた。今年はずっと好天気のおかげで、昨年より来館者が多く、アトリウムの模擬店コーナーは有名シェフのカレーも参加で早くから賑わった。

東陽町オープンハウス開催の趣旨「地域の皆さんとクリスマスを楽しむ」が今年も実行されたようだ。



YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼ひかりのうた

11月9日、「YMCAこどもの歌お披露目コンサート」が日本基督教団霊南坂教会で開催され、シンガーソングライターの新澤としひこ氏がYMCAのこどもたちのために作詞作曲した『ひかりのうた』が披露されました。東京YMCAの幼稚園、保育園、こども園、アフタースクールのスタッフ約150人が参画したワークショップなどを経て完成した歌で、今後東京YMCAに集う子どもたちのテーマソングとして広く歌われていく予定です。

▼ウクライナ避難者支援クリスマスチャリティー公演

12月7日、日本YMCA同盟主催、東京YMCAと日本児童青少年演劇協会の協力で、「ウクライナ避難者支援クリスマスチャリティー公演」が山手センターで開催され、ウクライナと日本の親子約80人が来場しました。人形劇団ポポロによるウクライナ民話「てぶくろ」の劇を鑑賞し、第2部では、レクリエーションや写真撮影等を通してウクライナと日本のこどもたちが交流しました。

▼オメガ回収募金報告

約100年の長い歴史を持つ東京YMCA野尻キャンプのヨット「オメガ」の修繕のために寄付を募ったところ、多くの方の協力により目標額を超える1,221,000円が寄せられ、無事に修繕が完了しました。ご支援有難うございました。

▼陽春の集い

2月22日(土)に東陽町地域高齢者のためのプログラム「陽春の集い」が開催されます。今年も福々亭の皆様による落語や園芸、歌謡ショーなどにぎやかに開催予定です。当日お配りするお雑煮やのし餅のためのボランティアを募集しております。どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。



★今月の誕生日

- 野澤一弘メン (3日)
- 木村卓司メン (21日)
- 大澤篤人メン (25日)
- 山口 紀子ネット (6日)



笑顔満開！！
今年もよろしくお願い致します

